



令和元年度

# 事業報告書

一般社団法人 北海道軽種馬振興公社

## 令和元年度事業報告（平成31年4月1日から令和2年3月31日）

当社は、ホッカイドウ競馬を継続かつ安定的に運営し平成28年3月に北海道が策定した第2期「北海道競馬推進プラン」を着実に推進するため、「北海道競馬の実施に関する業務」の委託を受け、馬産地の豊富な馬資源と屋内調教用坂路など競馬場施設の効率的利用を基本とし競馬事業の運営にあたった。

### 1. 公社運営に関する会議等

#### (1) 総会

##### ア 第43回通常総会

令和元年6月28日

- ・平成30年度事業報告
- ・貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書について
- ・役員を選任について

#### (2) 理事会

##### ア 令和元年度第1回理事会

令和元年6月14日

- ・平成30年度事業報告
- ・貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書について
- ・役員を選任について
- ・第43回通常総会の開催について

##### イ 令和元年度第2回理事会

令和元年6月28日

- ・理事長、副理事長及び専務理事の選任について

##### ウ 令和元年度第3回理事会

令和元年9月26日

- ・令和元年度ホッカイドウ競馬開催状況について

##### エ 令和元年度第4回理事会

令和元年12月10日

- ・令和元年度ホッカイドウ競馬開催結果について
- ・令和2年度ホッカイドウ競馬開催日程（案）について
- ・就業規則の改正について

##### オ 令和元年度第5回理事会

令和2年3月23日

- ・事業運営の基本方針
- ・令和2年度事業計画案及び収支予算案
- ・給与規程及び旅費規程の改正について

#### (3) 監査

##### 監事監査

令和元年5月31日

- ・平成30年度事業報告並びに収支決算に係る監査

## 2. 北海道競馬実施事業

### (1) 競馬事業費について

公社が道から委託及び補助を受け事業を実施した。

### (2) 開催日程について

令和元年度の開催は、濃霧により1競走が中止となりましたが、開催日数は当初の計画どおり80日間の実施となりました。発売成績は平成6年以来、25年ぶりに300億円越えとなる330億8,214万円（計画対比125.7% 前年対比131.5%）、本場来場者は年間通して天候に恵まれ59,545人となり、門別競馬場単独開催になった平成22年以降、過去最高となりました。

また、8月15日（BGC実施日）の発売金額が10億4,887万6,560円となり、門別競馬場における1日のレコードを更新しました。

### (3) 報償費について

春期における馬資源及び競走数確保のため、3歳以上馬の転入促進策を継続・拡大し輸送費を補助するとともに第1開催及び第2開催に出走した馬を対象とした早期出走奨励金を創設しました。

本賞金については3歳3冠重賞と3歳条件1組の特別競走をそれぞれ増額したほか、3歳以上のH2、H3の重賞競走についてもそれぞれ増額しました。

また、出走手当については重賞競走を1万円、3歳以上の上級競走のAクラス及びBクラスを5千円、それぞれ増額しました。

### (4) 発売拡大の取り組み

新たなファン層の獲得と広域からの集客をテーマに各場外発売所の属する地域で発行されるフリーペーパーに広告出稿を行い、地域住民にホッカイドウ競馬が認知されるよう継続して取り組みました。

また、道外発売については馬柱等の情報提供の拡充、南関東ほか、他地域での発売拡大に取り組むとともに、電話、インターネット、JRAネット投票での発売拡大に努めました。

さらに、場外発売所においては引き続きJRA発売を実施し、収益確保とJRAファンの取り込みに努めました。

## ア 集客イベント

開幕日の「開幕サンクスデー」、ゴールデンウィークの「春のケイバまつり」、夏休みやお盆時期といった、家族連れやカップルのライトファン層を広域から集客可能なタイミングで重点的に展開しました。

主なイベントとして

- ・開幕サンクスデー（4月17日）
- ・春のケイバまつり（5月1日～2日）
- ・夏のケイバまつり（8月13日～15日）

- ・秋のグルメまつり（9月22日）
- ・ファン感謝DAY（11月7日）

## イ 他主催者との連携強化による相互発売

南関東とホッカイドウ競馬の相互発売拡大を図る目的から、実施されている川崎競馬場における全レース発売や、大井・船橋競馬場ナイター3レース発売を実施するとともに、浦和の昼間3レース発売の拡大に努めました。

また、他地区での場外発売所の整備に伴い、場間場外発売の拡大により更なる発売拡大に努めました。

## ウ 電話・インターネット投票

情報提供の拡充などを積極的に推進し、好調に推移しているインターネット投票による発売拡大に努めた。特に、JRAネット投票の発売については63日間（平成30年度実績67日間）実施しました。

## エ 全国発売競走

全国重賞シリーズであるグランダム・ジャパン、ダービーシリーズ、スーパースプリント競走、3歳秋のチャンピオンシップ、未来優駿などのシリーズ競走に参画したほか、ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別を実施、全国発売による発売拡大を図りました。

## オ JRA発売

ホッカイドウ競馬の場外発売所におけるJRA全レースを発売（97日間：平成30年度109日間。ただし、Aiba札幌中央、Aiba札幌駅前メインレースのみ発売）するとともに、昨年引き続きG1競走の前売り発売をすることにより更なる収益確保に努めました。

## (5) 競馬番組について

競馬番組は、競馬事業の根幹部分であることから、ファンに魅力ある競走を提供していくことが重要です。

ホッカイドウ競馬は他の地方競馬とは異なり、2歳馬戦が競走の約4割を占め、その翌年には全国の競馬場へ多くの活躍馬を輩出し、全国の競馬ファン等から注目されている中で、距離適性に応じたスプリント、マイル、中距離のバリエーション豊かな競走距離を編成することにより競馬番組の充実を図りました。

また、年間を通じた2歳馬の概定番組を発表することにより、馬主及び調教師等の関係者が出走させやすい環境を整えるとともに、競馬ファンが注目する興味ある競馬番組づくりに努めました。

## ア JRA認定競走

JRA協力金のもと、全国最多の110競走を実施しました。

- ・重賞競走等 9 競走
- ・ウィナーズ 1 4 競走
- ・フレッシュ 5 2 競走
- ・アタック 3 5 競走

#### イ JBC協会協賛 スタリオンシリーズ競走

ホッカイドウ競馬の特色ある競走として定着し、全国から注目されているスタリオンシリーズ競走を、JBC協会のご支援のもと全51競走実施しました。

- ・重賞競走 2 3 競走
- ・特別競走（3歳以上） 1 2 競走
- ・スタリオンプレミアムシリーズ競走 1 6 競走

#### ウ JBC協会協賛「きゅう舎スタッフ特別賞」

きゅう舎関係者の技術向上と意欲の向上を図るため、JBC協会のご支援のもと重賞競走及び3歳条件競走で優勝したきゅう舎に特別賞を交付するJBC協会「きゅう舎スタッフ特別賞」を贈呈しました。

- ・対象競走
  - 2歳重賞競走 9 競走
  - 3歳重賞競走 3 競走
  - 3歳条件競走 2 4 競走
- ・交付金
  - 重賞競走 1 0 万円
  - 3歳条件競走 5 万円

#### エ 公益社団法人日本軽種馬協会による副賞贈呈事業

牝馬の所有意欲の継続と牝馬限定競走の維持拡大による軽種馬生産経営安定化に資する観点から、日本軽種馬協会の支援のもと実施する「牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」について全50競走を対象に実施しました。

#### オ 2歳優良馬導入促進事業の実施

良質な2歳馬の地方競馬への早期入厩促進を図ることを目的に、地方競馬全国協会が実施する事業を活用し、2歳限定競走（JRA認定競走を除く）において付加賞金を1着馬から3着馬までの馬主に贈呈しました。

- ・付加賞金（進上金、番組賞金加算対象外）
  - 1着50万円，2着10万円，3着7.5万円（1R 67.5万円）
- ・実施競走数 5 5 競走

#### カ 地方競馬全国協会シリーズ競走への参加

- ・スーパースプリント

短距離競走をシリーズ化して実施する「スーパースプリントシリーズ」に参加。

・対象競走「グランシャリオ門別スプリント(ミッキーアイル賞)」1着本賞金300万円

実施日 7月4日(木) 距離1,000m

・グランダム・ジャパン

牝馬重賞競走をシリーズ化して実施する「全国牝馬重賞シリーズグランダム・ジャパン」に参加。

・対象競走「ノースクイーンカップ(シニスターミニスター賞)」1着本賞金500万円

実施日 7月18日(木) 距離1,800m

・対象競走「フリーターズコールトカップ」1着本賞金3,100万円

実施日 8月15日(木) 距離2,000m

・対象競走「エーテルワイス賞」1着本賞金2,000万円

実施日 10月10日(木) 距離1,200m

・ダービーシリーズ

ジャパンダートダービーに向けた地方競馬の3歳重賞体系整備を目的とし、全国8か所で実施される「ダービーシリーズ」に参加。

・対象競走「北海優駿 H1(イスラホニータ賞)」1着本賞金700万円

実施日 6月19日(水) 距離2,000m

・3歳秋のチャンピオンシップ

ダービーグランプリに向けた地方競馬の秋の3歳重賞体系整備を目的とし、全国10か所で実施される「3歳秋のチャンピオンシップ」に参加。

・対象競走「王冠賞 H2(サトノクラウン賞)」1着賞金500万円

実施日 8月1日(木) 距離1,800m

・未来優駿

兵庫ジュニアグランプリや全日本2歳優駿に向けた2歳重賞体系整備を目的に設定され、全国7か所で実施される「未来優駿」に参加。

・対象競走「サッポロクラシックカップ H2(ハイロ賞)」1着賞金300万円

実施日 10月24日(木) 距離1,200m

・ヤングジョッキーズシリーズ

若手騎手の騎乗数の増加及び騎乗技術向上を図るためJRAと地方の見習騎手が参加する騎手交流競走を「2019 ヤングジョッキーズ トライアルラウンド門別」として実施しました。

実施日 8月21日(水) 2競走

## (6) ファンサービスについて

門別競馬場にキャッシュレス投票システムを導入し新サービスとして提供したほか、在宅投票の道内外のファンに向けてオフィシャルホームページなど情報提供の充実を図りました。

また、ホスピタリティの高いファンサービスの提供や、地元と連携した特産市、連携企業とタイアップしたイベント、道内プロスポーツクラブとタイアップしたバスツアーの実施などファンサービスを強化し、新たなファンの獲得とリピーターの拡大に努めました。

### ア ポイントカードUmacaの充実

門別競馬場及び道内16か所の場外発売所においてポイントカードUmacaのポイント付与方法や賞品等、キャンペーンの概要を予め広く告知することで、来場促進を促し、充実したファンサービスの提供を図りました。

### イ キャッシュレス投票システムの導入

門別競馬場において、キャッシュレス投票システムを導入し、ポラリススタンドのほかプチハウスやグリルハウスでも投票が可能となったほか、夏のケイバまつりではとねっこ広場に設置した大型テント内に投票システムを設置し、発売窓口の混雑緩和や投票における利便性の向上を図りました。

門別競馬場 当日カード利用者数 913人（延人数）

投票端末 6台 入金端末 3台 入金精算機 2台

### ウ 地域吹奏楽部によりファンファーレ演奏

TCKと連携した試みとして、ブリーダーズゴールドカップでの「トゥインクルファンファーレ」の生演奏に加え、富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏のほか、「びらとりDay」での平取中学校吹奏楽部によるファンファーレ演奏を行いました。

富川高校吹奏楽部 開幕日オープニング (4月17日)

道営記念 (11月7日)

平取中学吹奏学部 びらとりDay (8月6日)

トゥインクルファンファーレ BGC (8月15日)

### エ イベント広場の活用

北海道の四季に合わせた春・夏・秋のイベントを実施するとともに、「ひだか特産市」など地元食材や観光PRを合わせて実施することにより、日高管内及び門別競馬場のPRに努めました。

また、道内スポーツ紙と連携し、スポーツ著名人を招へい、日高管内の子供達を集めたスポーツ教室を実施するなど積極的に活用しました。

・春のケイバまつり

ひだか特産市など

- ・北海道胆振東部地震復興応援ナイター  
厚真、安平、むかわ3町の特産市
- ・夏のケイバまつり（大型テントを設置）  
S T Vラジオ公開生放送「まるごと！エンタメーション」  
フラワーアレンジメント教室や盲導犬とのふれあいイベントなど
- ・北海道コンサドーレ札幌イベント  
ジュニアサッカー教室
- ・ひだかうまキッズ探検隊キャンプイベント  
騎手との交流やジンギスカン鍋を囲んだ食事など
- ・ファン感謝デー（大型テントを設置）  
特産市や石狩鍋のふるまいサービスなど

## オ 道外新聞への馬柱掲載の充実

発売額が好調に推移しているインターネット及び電話投票の発売拡大策を図るため、札幌馬主協会様等からのご支援により、関東・東海・関西エリアのスポーツ新聞に馬柱掲載を行いました。

（サンケイスポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、

東京スポーツ、中京スポーツ、大阪スポーツ、九州スポーツ 8紙2レース掲載）

また、週刊競馬ブックでの重賞競走馬柱掲載やブックオンライン（ホームページ）から重賞予想データ無料ダウンロードを実施しました。

## カ SPAT4及び楽天競馬との連携

南関東電話投票（S P A T 4）及び楽天競馬との連携により、会員へのメール配信・ホッカイドウ競馬情報の郵送・動画配信や日高の特産物やオリジナルグッズなどが当たるファンプレゼントなどの実施により発売拡大を図りました。

## キ 無料送迎バスの集客拡大

開催日に札幌駅北口から門別競馬場までの無料送迎バスを毎日運行し、札幌圏から門別競馬場への来場促進を図るとともに、来場者が多く見込まれる“ケイバまつり”等には臨時便を運行するなど、効果的な集客策に努めました。

また、送迎バスの空き時間を活用した、門別温泉「とねっこの湯」無料シャトルバスを運行し、リピーターの獲得を図りました。

・総乗車数 延べ3, 362名（前年比 135.2%）

うち、とねっこの湯無料シャトルバス利用者 1, 019名

## (7) 北海道著名企業とのコラボレーション

北海道を代表する企業とのコラボレーションをより一層図り、「MADE IN HOKKAIDO KEIBA」をスローガンに、オール北海道として様々なイベントを実施し、ホッカイドウ競馬により親しめるよう、著名企業とのタイアップを積極的に推



進しました。

- ・サッポロビール、ポッカサッポロ  
春のケイバまつりでの協賛競走実施やプレゼント抽選会など
- ・AIRDOサンクスデー  
機内販売スープの試飲会やオリジナルグッズ抽選会など
- ・レバンガ北海道ティップオフナイト  
現役選手とのファン交流会や予想トークステージなど
- ・ソメスサドル  
フルールカップ競走の冠協賛や抽選会への賞品提供など
- ・北海道コンサドーレ札幌DAY  
協賛競走の実施やジュニアサッカー教室など
- ・ホクレンDAY  
協賛競走の実施や北海道農業クイズのイベントなど

#### **(8) 門別競馬場を活用した馬産地の活性化（公益目的実施事業）**

法人移行に合わせて公益目的実施事業として、軽種馬生産の振興と馬産地の活性化に資するための各種イベントを実施しました。

#### **附属明細書**

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。